

平成23年度 富山県レクリエーション協会事業方針

県協会の総力を結集した第23回全国スポーツ・レクリエーション祭の「ウォークラリー大会」と「ニュースポーツ体験コーナー」は、スタッフのご尽力もあって大成功のうちに終了できました。このスポレク祭開催を契機に県内では生涯スポーツブームが到来し、県協会への期待も高まってきています。

この期待に呼応し、県協会は本年度から特定非営利活動法人（NPO法人）として新たな歩みをはじめます。

一方、3月11日の東日本大震災による社会的・経済的な影響は測り知れず、予断は許されない状況にあります。しかし着実な復興策が成功していけば、景気は確実に上昇していくとともに、人とひととの絆は必ず強まるものと思慮できます。「がんばろう！日本」「がんばろう！東北」のスローガンに呼応し、被災地の皆様の支えになれるよう、我々も元気づくりに参加しましょう。

1 特定非営利活動法人（NPO法人）初年度の取組み

所轄庁（富山県）への申請、法務局への登記手続き等を粛々と進めるとともに、協会・旗・公印・事務用品を新調するなど法人化準備を滞りなく進めます。

また、新会長就任にあわせ行政機関・報道機関・関係団体等へ法人化を周知していくとともに、各種委託業務の受託に向け積極的に行動を開始します。

2 組織強化の展開

県協会の組織強化のため、加盟地域協会の活性化を一層図り、市民サービス型事業の展開を充実させます。また、未組織の地域に有資格者によるレク研究会・同好会等を立ち上げ、地域協会設立の足がかりを構築します。

なお、友好団体との関係を強化し、種目団体の加盟を増加させていきます。

一方、次代の協会を担う後継者育成に本腰をいれてまいります。

3 財源確保策の構築

日本協会から交付される助成金の減額のため、これまでの赤字体質の事業実施方法を見直すとともに、新たな財源を確保するための方策を引き続き検討し、収益事業の新規構築に努めてまいります。また、有資格者の資格更新率を向上させるための方策に着手します。

4 生涯スポーツ社会への取組み

レクリエーション運動の一分野である生涯スポーツ活動は、スポレク祭の開催を契機に県内に広がりを見せています。また、国レベルでもスポーツ立国の機運が高まる中で、ますます関心が強まるとみられます。県生涯スポーツ協議会が県体育協会に加盟した関係で、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、各種競技団体との接点もできていますので、これを生かす取組みも始めていきます。